

指定校番号	28107	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立高宮中学校	校長	佐々木 生祐	生徒指導主事	北村 清
-----	-------------	----	--------	--------	------

取組事例名 『お年寄り訪問』

取組のねらい『キーワード 優しさ』

- 1 ボランティア活動を通して、「自分のしたことで人が喜んでくれた」「人の役に立つことができた」という喜びや達成感を持たせる。
- 2 お年寄りとのふれあいから、豊かな経験や生き方を学びよりよく生きていこうとする生徒を育てる。

取組の具体的内容『キーワード 知る』

- 総合的な学習の時間の学習課題に沿った内容でボランティア活動を行う。
 (1年…地域の高齢者に係る課題 2年…地域の活性化に係る課題 3年…地域の福祉に係る課題)
- 1 開催要項の作成
 - 2 生徒及び職員実行委員会結成・計画への周知
 - 3 社会福祉協議会との連携
 - 4 75歳以上の1人暮らしのお年寄り訪問希望者を募る(往復葉書きを活用)
 - 5 第1回グループ会議(訪問計画の作成・訪問先へのはがき・留守宅用の手紙を書く)
 - 6 掃除用具・プレゼント等の準備
 - 7 前日の準備(準備物の確認)
 - 8 出発式
 - 9 訪問先での活動
 - 10 第2回グループ会議(振り返り…感想文, 掲示用の感想文, お礼のはがき)
 - 11 定時

取組の課題・創意工夫『キーワード 配慮』

- 取組の課題
- 1 年々, 訪問する家が減少傾向にある。
 - 2 受け入れる側(お年寄り)の気持ちの中に, 掃除や中学生との会話は楽しみであるが, 訪問されるという緊張感, 気遣い等の精神的な負担により, 訪問希望が減少傾向にある。
- 取組の創意工夫
- 1 総合的な学習の時間で学んだことをお年寄り訪問の体験で生かしている。
 - 2 社会福祉協議会の職員や民生児童委員さんのアドバイス, サポートにより, 中学生が活動しやすくなっている。

取組の成果(効果)『キーワード 感謝』

- 1 中学生にとってお年寄りと接する機会が少ない中で高宮町の高齢者の実態を知り, 訪問を通してお年寄りとの接し方やコミュニケーションのとり方を深く学ぶことができた。
- 2 人と優しく接することを身につけた。
- 3 お年寄りのニーズを理解して活動をしていた。
- 4 生徒の感想文より90%を超える生徒の満足度, 感謝の気持ち等, 学習の成果をみることができた。

今後の展開『キーワード 工夫改善と継続』

- 1 現在の実施方法を改善しつつ, 継続して行う。
- 2 各教科, 領域との関連を整理し, 学校生活全般の中で, 人との接し方, 優しさを考え, 身につけさせる。

他校へのアドバイス『キーワード 高齢者とのふれあい』

機会をとらえて, 高齢者とのふれあいがもてる活動を仕組んだらよい。

平成 28 年度 高宮中学校「お年寄り訪問」 活動の様子

民生児童委員さんを迎えての出発式



お年寄り訪問による活動（清掃活動）



お年寄りとのひととき



訪問させていただいたお家から
お手紙をいただきました！

まとめを掲示・振り返り

生徒作文 一部抜粋（『お年寄り訪問を終えて』）

お年寄りの方のお話を聞く中で感じたことが2つあります。1つは、お年寄りの方は、とても元気だということです。声も大きく、笑顔が絶えず、お話の絶えない方でした。お話を聞いて私も元気をもらうことができました。もう1つは、私達は周りに支えられていることを実感しました。それは、親戚の方が心配をして様子を見に来られたり、ヘルパーの方が、ご飯を作っているのを見ました。

今回感じたことを、今後の生活に活かし、周りの方々を大切にしていきたいと思います。

